

# Ja-Net

季刊ジャネット

No. 58

2011年7月25日発行

- ◆ View from the Other Side ..... 3
- ◆ あちこち日本語ご紹介  
(東京都新宿区) ..... 4
- ◆ あちこち日本語ご紹介  
(メキシコ合衆国メキシコシティ) ..... 5
- ◆ 教材紹介 ..... 6
- 『日本語教育叢書「つくる」漢字教材を作る』  
『新完全マスター語彙 日本語能力試験N1』、『同N2』  
『新完全マスター読解 日本語能力試験N1』、『同N2』
- ◆ なんでも情報BOX ..... 8

Ja-NetはJapanese Networkの略です。「にほんご」を通して編集室と読者の皆様を結ぶ情報誌にしたいと考えています。

スリーエーネットワーク

卷頭寄稿

## 日本の中のブラジル

有限会社エーゼットサポート代表 三浦マリエ



### バブルとともに増加した在日ブラジル人

私は日本でバブル景気が始まる前の1980年にブラジルから来日しました。約30年前のことです。着いた当初は日常会話やテレビ・ラジオでポルトガル語を耳にすることは全くありませんでした。「えっ、ブラジル?」それが「ブラジルから来た」という言葉に対して日本人から返ってくる反応でした。当時の日本人がブラジルに対して抱いているイメージといえば大部分が「戦前に多くの日本人が移民として海を渡り、コーヒー栽培をしている国」あるいは「サッカーの王者ペレ」、もう少し進んだとしても「ボサノバが好き」といったものでした。

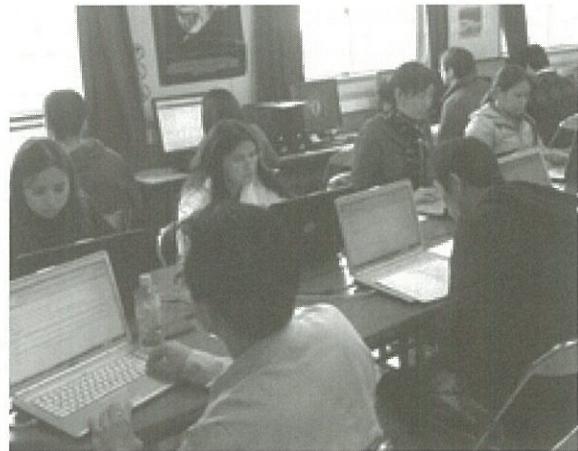
それが数年前、ビザ更新のために入国管理局へ行った時のこと。私の書類を見た日本人担当者に「ナシメントとカザメントにはオテンチカードが必要です」と言われました。「ナシメント (nascimento)」とは「出生」、「カザメント (casamento)」とは「婚姻」という意味で、要するにそれらの証明書のこと。でも、「オテンチカード」とは何だろう? 理解できずに尋ねると“autenticado”(英語で“authenticated”)のこと、公証人役場で認証済みという意味でした。このように日本の公的機関でもポルトガル語が普通に使われるようになったことに、変われば変わるものだと驚き、感動しました。

その背景には28万人にも上るといわれる在日ブラジル人の増加があります。彼らの多くが愛知県・静岡県・群馬県の工業地域に集住していますが、こうした地域での生活は母国にかなり近いものになっています。ブラジル料理の店やブラジル食材等を扱うスーパーマーケット・雑貨店が多く見られ、町を歩けばポルトガル語の看板に出くわします。スーパーではブラジル料理に欠かせない牛肉がブロック売りされ、陳列棚にはブラジルのお菓子だけでなく、ブラジル人が毎日の食事で口にする「シュシュー (ハヤトウリ)」や「ケール」「ジロー (学名 Solanum gilo)」など日本の食生活ではあまり馴染みのない野菜が並びます。ブラジル人の割合が高い地域、群馬県の大泉町や静岡県の浜松市にはポルトガル語で授業を行う学校もあります。

人口の増加が始まったのはバブル絶頂期の1985年頃のことでした。

「ブラジル人が日本の工場で働いている」という話が耳に入るようになつたと思う間もなく、状況は大きく変化しました。激しいインフレと不景気にあえいでいたブラジ

ル側と労働力を必要としていた日本側の状況を背景に、日本企業が日系ブラジル人を労働の担い手として呼び込んだ結果、日本の行政システムも社会全体も受入体制が不十分なままに20~50代を中心とした二世・三世の日系ブラジル人が数多く入国しました。さらに1990年には「出入国管理及び難民認定法(入管法)」が改正され、外国籍を有する日系二世・三世は「日本人の配偶者等」「定住者」の資格で日本滞在が許可されるようになりました。こうして在日ブラジル人は急激にその人口を伸ばしていました。



日本でブラジルの教育課程を受けるブラジル人の若者たち

### 徐々に浸透しつつあるポルトガル語とブラジル文化

それと共にポルトガル語の単語を耳にする機会も多くなりました。増加傾向にあるのはブラジルのポルトガル語。日本の歴史にポルトガル語の第一歩を刻んだのは本国ポルトガルで、1550年のポルトガル人の種子島漂着まで遡ることができます。触れることが多い外来語としてはテンプラ・ビードロ・シャボン・カステラ・ボタン・カッパなどご存知のものも多いでしょう。では、ブラジルから定着しつつある単語はいくつ思い浮かぶでしょうか。サッカー用語では「ホペイロ (サッカーチームの用具係)」や「ジンガ (サンバのリズ

ムで体を揺らす独特の動き)」など。格闘技では「カポエイラ(ブラジルの伝統武術)」の人気が高まっています。

最近では若い女性の間に広がりを見せ、レッスンに通う人が増えているそのカポエイラ。歴史は古く、16世紀前半まで遡ります。当時、奴隸としてブラジルに連れてこられたアフリカ人が支配者の暴行などから身を守るために編み出した護身術とされています。格闘技の練習を支配者に禁じられていた奴隸たちは、ダンスをしているかのように音楽や歌に合わせてカポエイラを実践し、後世に伝えたと言われています。

食べ物の面でも、言葉とともに料理や商品そのものを目にする機会が増えました。「シュハスコ(バーバキューア)」や「ポン・デ・ケージョ(チーズ入りもちもちパン)」などはどこかで見かけたり食べたりしたこともあるのではないでしょうか。また、ブラジル人が集中する工業地域だけでなく東京でも本格的なブラジル料理やお酒を楽しめるレストランやバーが増えています。インターネットを利用すれば「フェイジョアーダ(豚・チョリソーと豆の煮込み)」や「ドブラジニャ(牛の胃袋と豆の煮込み)」といった典型的なブラジル料理のレトルトや「フェジョン・プレット(乾燥黒豆)」など、ありとあらゆる商品が注文翌日には手元に届くようになりました。来日時と比べて変化の大きさには改めて驚かされます。

### フェイジョアーダにまつわる思い出

さて、フェイジョアーダと言えば心に強く残る思い出があります。

### フェイジョアーダの歴史

ブラジルの農場へ労働者として連れてこられたアフリカ人奴隸が考え出した料理。主人の料理で用いられた後に残った豚の各部位(内臓・耳や鼻・足・尾など)と豆などの安い食材を使い、できるだけ美味しく食べられるよう工夫したものと言われています。少量作るのが難しく、基本的には日本の鍋のように大人数で食べます。レストランでも食べることができますが、ボリュームがあり腹持ちのいい料理であることから、一般的な習慣として水曜日と土曜日の昼に限定して出されています。

### フェイジョアーダの作り方(10人分)

#### ●材料

- ・フェジョン・プレット(黒豆、乾燥したもの) : 1kg  
※ブラジル食材店で入手可能。難しければ金時豆でも可
- ・サラダ油 : 少々
- ・玉ねぎ : 2個(みじん切り)
- ・ニンニク : 3かけ(みじん切り)
- ・ローリエ : 3枚
- ・牛肉ブロック : 300g
- ・ソーセージ各種 : 300g  
※あればポルトガルソーセージ: 100g、チョリソー: 200g



本格的なブラジル料理「フェイジョアーダ」

せっかくの機会ですので、そのエピソードと併せて最後にフェイジョアーダの歴史とレシピを紹介しましょう。

本格的なブラジル料理が食べられるレストランなどどこにもなく、懐かしい豆料理が食べたくてたまらなかった頃のことです。ポルトガル語の通訳仲間のYから「ブラジルの豆をもらったよ」と連絡がありました。「えっ、本当? じゃ、フェイジョアーダを作つて皆で食べよう!」と留学や研修等で日本に来ているブラジル人の仲間に連絡し、誰もがその日を待ちにしていました。しかしよいよ楽しみが近づいた三日前、Yの家が火事で全焼。幸いなことにYは無事でした。知らせに驚いた仲間、まずはYの身を案じました。「Yは大丈夫?」しかしその次の言葉は「で、豆はどうなった?」。そして本人からも翌日「豆、無事だったよ!」との連絡が。Yによると、缶に入れてシンク下に大切にしまっておいたおかげで火事の被害を免れたとのこと。もちろんフェイジョアーダを食べる会は予定通り開催、火事で何もかも失ったYと何事もなかったかのように賑やかに食べたフェイジョアーダは本当に美味しいものでした。

#### 三浦マリエ(みうら・まりえ)

ブラジル(サンパウロ)出身の日系ブラジル人。

1980年に来日。以来、ポルトガル語翻訳・通訳者として活動する傍ら、ポルトガル語教育にも携わっている。現在、ポルトガル語とスペイン語を専門とした翻訳・通訳会社を運営。またNHKのポルトガル語ラジオ放送で翻訳者およびアナウンサーを務める。日伯中央協会ポルトガル語教師。

- ・ベーコン : 100g
  - ・スペアリブ : 200g
  - ・豚バラブロック : 200g
  - ・豚の尾・耳 : 各100g、豚足 : 200g
- ※好みで

#### ●作り方

- ①豆は水を替えながら数回洗い、3時間ほど水に浸しておきます。
- ②厚手の鍋でサラダ油を熱し、玉ねぎとニンニクを炒めます。きつね色になったら牛肉を塊のまま加え、表面に焼き色が付いたら黒豆とローリエ、水を加えて30分ほど煮込みます。

- ③残りの材料をすべて加えます。浮いてきたアクと脂は取り除きます。
- ④肉が柔らかくなったら食べやすい大きさに切って鍋に戻し、さらに20~30分煮込みます。
- ⑤塩胡椒で調味し、カレーのようなとろみがついたら出来上がり。ご飯にかけていただきます。

ブラジルではガーリックライスと一緒に食べたり、付け合せとして、刻んだケールを炒めたもの・キャッサバ芋の粉・オレンジの輪切りを添えるのが一般的。オイル漬けの赤唐辛子を少しあげるとピリッとして味が引き締まります。

## 学習者の目

このコラムでは、  
学習者の視点での話題を  
お届けします

## View from the Other Side

## 今こそ、日本に恩返ししたい

アフシン・ヴァリネジャド（イラン）

—3.11東日本大震災の後、何度か、被災地を訪ねたそうですね。

はい。全部で7回。オランダのテレビ局の取材班に同行する仕事が入り、13日に被災地の気仙沼に行きました。その後、すぐ原発のニュースが流れて、取材クルーは急遽帰国することになり、青森空港まで送りました。次にすぐ、イギリスのテレビ局の仕事が入って、山形空港まで出迎えにいったのですが、やはり到着直後に本国から帰国命令が出て、新潟空港まで送ることになりました。

僕は、取材クルーと一緒に震災直後の被災地を訪ねて、厳しい状況のなかで生活している人たちを目撃したりして、胸がとても痛くなりました。ちょっとでも何か支援しなければ、人間じゃないと思いました。イランのお正月（Nowrouz、3月21日）まで、被災地で何かしようと決心し、大雪の新潟空港からの帰り、車を借りて東北に戻ることにしました。

まず、秋田でりんごを1000個買って、宮古や山田へ届けました。

それから、Facebookで「Tour of Love: 被災地へ届けますので、『新品』をお願いします」と呼びかけました。それに多くの友人たちが応えてくれました。

—どんなものが集まりましたか。

絨毯屋さんの友人がイランのギャッベという毛足が長めの座布団程の大きさのカーペットを500枚くれました。まだ雪が降る日もある寒い季節だったので、子どもたちが「フワフワしてる」って大喜びしてくれました。

僕はお酒を飲まないけど、ワインを50本貰ったので、避難所のおばあちゃんたちに届けたら、ニコニコ喜んでくれました。

飯館村のお年寄りが水に困っていると思ったので友達に相談したら、台湾からペットボトルで水5トンを手配してくれました。京都まで船で運んで、それからトラック、4月23日には村に到着しました。

—すばらしいネットワーク、フットワークですね。

自分をこれまで育ててくれた「日本」がたいへんなことになった、何とか日本の役に立ちたい、みんなで協力いろいろ努力しなくちゃ、と思いました。



被災地に届けるリンゴが満載の車の荷台。  
イランではお正月（Nowrouz）にりんごー美しいものの意味ーを必ず用意します

—「日本」に育てられたというのは？

イランにいたとき、日本語が少し話せたので、日本の新聞社のテヘラン支局で働いたことがあります。その後別の通信社の仕事でドバイに行ったとき、NHKの仕事の話があつて日本に来ることになりました。海外へ日本を紹介する番組で、日本各地を取材したのですが、訪問先で多くの人にたいへんお世話になりました。いろんなことを教えてもらいました。困ったときには助けてもらいました。僕は日本で生活していくなかで、日本人々に育ててもらったと思っています。ですから、今こそ、日本に恩返ししたいと思っています。

—6月に一時帰国されたとき大学で日本についてお話をされたそうですね。

Iran Azad Universityで働いている友人から頼まれて彼の学生50人に日本事情、日本の文化や日本人について話しました。僕は仕事以外でも自転車で日本中を旅行しました。田舎で出会ったおじいちゃんやおばあちゃんが親切で優しくて、大好きになったこと、そして、最後に今回の東北で体験したことを話しました。

それは、僕が、プレゼントを車いっぱいに積んで被災地を訪ねた経験です。何もかも失ってしまった人たちでしたが、皆さん、僕の車の前に並んで、順番が来ると、自分に必要なものを少しだけ持っていく。子どもも、きちんと並んで順番を待っている。これは僕には印象的でした。モラルが高くて、立派で、すばらしい人たち…山田、陸前高田、南三陸、大船渡、石巻、釜石、宮古、南相馬、飯館…、僕が訪ねたどの町も同じでした。

学生たちは、僕の話を熱心に興味深く聞いてくれました。

—イランの若い世代に日本のことを使ってくださいってとても嬉しいです。

僕は、これからもジャーナリストとして、僕の目で見た日本、体験した日本をイランに、そして世界に伝えていこうと思っています。

Afshin Valinejad アフシン・ヴァリネジャド

1966年イラン・テヘラン生まれ。

読売新聞テヘラン支局、AP通信勤務後、NHKと契約し2002年来日。海外へ日本を紹介する番組で日本各地を取材。現在はフリーのジャーナリストとして活躍。

## 編集部注

アフシンさんは東日本大震災ではヨーロッパからの取材班に同行する仕事が入って被災地を訪ねた。原発事故発生のため、仕事は急遽終了したが、この仕事で得た収入は全額被災地のために使おうと決め、トラックやバスを立て、物資の寄付などを募り、震災直後から5月末までの2ヵ月半の間に7回被災地を訪問。走行距離は16000 kmに及ぶ。



東京都

新宿区

ともに学び  
ともに育つ街、新宿

新宿区あけぼの会日本語教室 吉田聖子

3月11日金曜日、東日本大震災の日。ランチミーティングをおえて、帰宅しようとしていた日本語教室のボランティアと学習者は帰宅難民となり、都庁近くのコンコースで身を寄せ合って一晩を過ごしました。「一人じゃなくてよかった！」

数日後、教室に通うタイ人夫婦の奥さんから「仙台とイシノマチ（石巻）、どっちが遠い？ ガソリンいくらいる？ ダンナさん（から）聞いたよ。」と尋ねられました。次の週、彼女のダンナさんは、飲食店に勤める同じ国の仲間と軽トラックにガソリンと食材、バザーやお祭りで使うガスコンロと大鍋を積んで被災地の小学校にカレーの炊き出しに行きました。住民の高齢化を嘆く町内会長さんが、「地震の時、頼りになるのは外国人パワーだ」と言っていたのを思い出しました。

#### 教室のなりたち

都内でもっとも外国人が多い街、新宿（2011年1月1日現在、117か国の人々が暮らす）に「あけぼの会日本語教室」はあります。来年創立20周年を迎えるこの会は、まだ区の日本語教室がなかった新宿で、身近に暮らす外国人のために何かできないかと区役所に相談に行った区民3人が、志を同じくして立ち上げました。場所の確保・広報など区役所の協力もあり、開催初日は入会希望者があふれ、教室の建物の外にまで行列ができる騒ぎでした。そのときは役所の方が急遽第2教室の場所を探してくださいました。

その後バブル経済、入管法の改定、リーマンショックなどにより、日本語学習者の数も背景も大きく変わり、またボランティアも専業主婦の減少、元気な60~70代の増加、セカンドステージ（定年退職者）が参加するなどずいぶん変わりました。日本語教室は公共の施設を借りて行うことが多いのですが、昨今の自治体の財政状況悪化、公共施設管理の第3セクターへの移管による利

用料金の値上げなどの理由で、活動場所の確保は年々難しくなっています。さらに、今回の地震によって損傷し使えなくなった公共施設もあり、あちこち場所を探しながら活動を続けている教室もあります。

#### 活動状況と回覧板

あけぼの会日本語教室には二つの教室があり、それぞれレベルや目的によりさらにいくつかのグループに分かれています。

各グループ、テキストを使ったり、新聞のコラムや折り込みチラシなどを使ったりして日本語の学習活動を行っています。各グループにボランティアは1人。ボランティアは会の趣旨に沿い、自分のグループのその日の参加人数や目的、状況に合わせて、自由に活動を組み立てます。同じテキストでも人により使い方はさまざまです。ボランティアは毎回活動日誌をつけ、月末に教室内で回覧します。この回覧板にはコメントシートがついていて、「○○さん、6月14日の活動面白そうですね、資料ください」とか「学習者にこんなこと聞かれて困っちゃいました。助けてください」など、その時々の記録や質問などを記入し、普段お互いの活動がみられない部分を補い合っています。

会ではボランティア全員が対等な立場で教室活動にも運営にも関わります。月に1度の教室ミーティングでは、学習情報（内容や課題）を共有したり、保健所の緊急連絡や税金相談のお知らせなど、学習者に必要な情報の整理や、勉強会などをしています。教室の運営については必ず全員で話し合います。

会が長く続くとボランティアにも卒業者が出てきます。活動の第一線を退いた後も、会全体の会計管理や総会の資料整理をしてくださる方、地域情報の収集などにまわっ

外国人集住都市上位10都市と新宿区の比較（2009年現在）

| 都市名      | 総人口（人）  | 外国人登録者数（人） | 外国人割合割合（%） |
|----------|---------|------------|------------|
| 群馬県伊勢崎市  | 210,957 | 11,137     | 5.3        |
| 群馬県太田市   | 219,789 | 7,753      | 3.5        |
| 群馬県大泉町   | 41,286  | 6,361      | 15.4       |
| 長野県上田市   | 163,809 | 4,227      | 2.6        |
| 長野県飯田市   | 107,921 | 2,549      | 2.4        |
| 岐阜県大垣市   | 164,680 | 5,721      | 3.5        |
| 岐阜県美濃加茂市 | 55,219  | 5,193      | 9.4        |
| 岐阜県可児市   | 101,620 | 5,988      | 5.9        |
| 静岡県浜松市   | 820,971 | 28,525     | 3.5        |
| 静岡県富士市   | 261,573 | 5,050      | 1.9        |
| 東京都新宿区   | 314,592 | 33,555     | 10.7       |

出典： 外国人集住都市会議 東京2010報告 (<http://www.shujuutoshi.jp/siryo/>)  
新宿区ホームページ (<http://www.city.shinjuku.lg.jp/content/>)

てくださる良き先輩がいます。また就職や介護・看護でしばらくお休みして復帰する方もいます。これがボランティアを楽しみながら長く続けられる秘訣かもしれません。

#### ともに学びともに育つ街、新宿

私にとって新宿は、学びの街です。35年前、アメリカからやってきた日本語専攻の学生に「小津安二郎論」から日本語の「は」と「が」の違いまでありとあらゆることを質問攻めにされ、日本人が日本語で外国人とコミュニケーションをとることの難しさを実感しました。その足で日本語教師のための講習に申し込みました。

現在、私は全国各地で地域日本語教育に関わる人材を養成しています。その折、養成講座の受講者から「外国人スタッフよりボランティアのほうが日本語が通じないんだよ」と言われ、コミュニケーションに必要なものはなに？と悩み、そして「対話を中心とした日本語教室活動」にたどり着きました。

いつどんなときにも学ぶパワーを与えてくれる街、それが新宿です。

「外国人と対話しよう」  
『にほんごボランティア手帖』  
吉田聖子、他著（凡人社）



# あちこち

# 日本語

## ご紹介 海外編



メキシコ合衆国  
メキシコシティー  
独自教材の開発と充実を目指す  
日墨文化学院

社団法人日墨文化学院 穂積和子

### 日墨文化学院設立の経緯と 独自教材の開発

日墨文化学院はメキシコ・オリンピックの前年、1967年にメキシコ・オリンピック委員会と在メキシコ日本大使館の要請を受け、オリンピックに来墨される日本選手団のアテンドの為に大使館内に開設された通訳養成講座をその前身とします。

当時、日本語講座を行っていたのはメキシコ国立自治大学・外国语教育センターとエル・コレヒオ・デ・メヒコ大学院大学のみであり、しかも、それぞれの大学の学生だけが受講できるようになっていて、一般の人たちが受けることができる日本語講座はありませんでした。その為、オリンピック終了後はその任務終了ということで通訳養成講座は閉講を予定していましたが、受講生たちからの強い要望もあり、メキシコと日本の架け橋になるために活動しようとしていた二世協会のメンバーたちがメキシコ二世協会日本語学校として講座を続けることに決めました。1971年に二世協会のメンバーであった有志からの場所の提供を受け、メキシコ・シティーの南、コヨアカン地区にその場所を移し、1975年には二世協会からも独立、社団法人としての登録をし現在に至っています。二世協会のメンバーはそのまま、社団法人日墨文化学院の理事に就任しました。

最初は教材もなく、どのように日本語を教えたらしいのかという手探り状態であり、理事たちは私財を提供して、この日本語学校を維持することに努めてきました。

その後、1977年にはメキシコの大学に客員教授としていらしていた先生や多くの方々のご協力を得、最初のローマ字版のオリジナル初級教科書が作成されたのです。この教科書はその後、ローマ字をやめて、漢字仮名混じり文のものにするなどの改訂を重ね、現在も使われています。



▲ 設立から45年の日墨文化学院

▼ 日本語クラス風景。初級から上級までの一貫教育を目指し、日本語教師は教材研究を続けている



1980年から1997年までは国際交流基金の日本語教育専門家の派遣を受け、カリキュラムの作成、現地講師の養成などの指導を受けることができ、日本語学校としての基礎を築くことができました。

### 学習動機の変遷

一方、学習者たちも最初のうちは、英語やフランス語といったヨーロッパ言語ではない、変わった言語を勉強したい、日本の文字を子供の頃、見たことがあり興味が湧いたなどの遠いアジアの国の文化に対する漠然とした興味が学習動機でした。しかし、1980年代後半から1990年代にかけては日本への留学を希望するなどの明確な目標を持った学習者が増え、それと同時に彼らの学習到達目標も高くなり、中級のしっかりしたカリキュラムの作成や使用教材の選定、副教材の充実などが必要となりました。従って、基金の専門家たちの指導のもと、現地講師たちでその作成に努めてきたのです。

現在は他の国と同様、日本のアニメ、J-POPへの興味から勉強を始める学習者が大勢を占めています。

### 現行のクラスと教材の見直し

15歳以上の一般成人を対象に、1学期10週間、年4学期の学校カレンダーで授業をしています。また、この年4学期の通常クラスのほか、文部科学省の教員研修で日本へ行くメキシコ教育省の小・中学校の先生

たちと、日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修計画（日墨交流計画）に基づくJICA受入れの研修員たちへの渡日前の集中日本語講座を行っています。

通常クラスでは初級から上級への一貫教育を目指しており、上級クラスでは生教材の読めるレベルを目標にしていますが、そのレベルまではまだ到達できていない状態です。

コンスタントに初級、中級教材の見直しを教師全員で行ってはいますが、教師の流动が激しく、2~3年で教師が入れ替わっている為、長いタームでのプロジェクトを企画できないのが非常に残念です。もちろん、人数を補充する為の教師の確保も大きな問題です。

### メキシコ日本語教師会の発足

メキシコ全国でいうと、2003年にメキシコ日本語教師会が正式に法人化し発足しました。それまでは、規約も会費もない勉強会という形でいろいろな機関の教師が集まっていたましたが、教師会が正式に発足し、メキシコにおける日本語教育ならびに日本語教師の質の向上を目指し、国際交流基金の援助を戴いて定期的にシンポジウムや夏期講習を行っています。教師会のお蔭で、全国の日本語教師との連絡もよくなつたように思いますが、まだまだ課題はたくさんあるので、皆で頑張っていきたいと思います。

# 教材紹介

『日本語教育叢書「つくる」漢字教材を作る』

『新完全マスター語彙 日本語能力試験 N1』、『同 N2』

『新完全マスター読解 日本語能力試験 N1』、『同 N2』

## 『日本語教育叢書「つくる」漢字教材を作る』

筑波大学大学院人文社会科学研究科教授 加納千恵子

現代のグローバル化した社会においては、学習者の学習環境やニーズはますます多様化しています。また認知心理学や脳科学などの研究により様々な新しい知見が得られているにもかかわらず、外国人日本語学習者にとって「漢字」はいまだに大きな学習の負担となっています。そこで本書では、新しい時代に合った教材を作成するために、非漢字圏学習者のみならず、漢字圏である中国人学習者や韓国人学習者も射程に入れた、漢字語彙を学ぶための教材作りのノウハウを実例を挙げて詳細に説明しています。

本書は3章から構成されています。

**第1章「作る前に」**では、「漢字習得の問題」「漢字教材の現状と課題」「漢字教材の作成に向けて」という3つの小節を設け、漢字習得や語彙習得の研究なども参考しながら、様々な漢字教材に見られる学習アプローチなどを整理し、漢字教材作成の手順を解説しています。

**第2章「教材を作る」**では、漢字学習の目的、ニーズ、そして対象とする学習者などによって7つの小節に分けました。7人の執筆者それぞれが各自の経験と知識を生かして、具体的な教材作成のプロセスとノウハウ、注意点について紹介しています。実際の練習例なども多数掲載しています。

**第3章「作った後で」**では、「教材の試用と見直し、評価の方法」「漢字学習のための環境デザイン」として、作成した教材をよりよいものしていくための方法や学習者のおかれている環境に合わせた教室外での教材や情報提供のありかたについて解説した上で、「漢字教材の今後」についても述べています。

本書を書くにあたって念頭においた読者は、国内外の現職日本語

### ■ 本書の構成

|           |                                                                                                                                                                |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第1章 作る前に  | 第1節 漢字習得の問題<br>第2節 漢字教材の現状と課題<br>第3節 漢字教材作成に向けて                                                                                                                |
| 第2章 教材を作る | 第1節 大学などで使う初級教材を作る<br>第2節 大学などで使う中級教材を作る<br>第3節 非漢字圏学習者のための教材を作る<br>第4節 中国人学習者のための教材を作る<br>第5節 韓国人学習者のための教材を作る<br>第6節 漢字語彙拡張のための教材を作る<br>第7節 地域で学ぶ学習者のための教材を作る |
| 第3章 作った後で | 第1節 教材の試用と見直し、評価の方法<br>第2節 漢字習得のための環境デザイン<br>第3節 漢字教材の今後                                                                                                       |

教師、日本語教師を目指す方々、日本語教師養成に携わる方々、地域日本語ボランティアなどです。本書が読者のみなさんの漢字語彙教育・漢字学習に対する理解をさらに深め、新しい時代の漢字教材開発への原動力となれば幸いです。

## 『日本語教育叢書「つくる」漢字教材を作る』

A5判 203頁、1,890円

関正昭・土岐哲・平高史也 編 加納千恵子・大神智春・清水百合・郭俊海・石井奈保美・谷部弘子・石井恵理子 著



### ●日本語能力試験対策なら『新完全マスター』シリーズ

- ◆ 新完全マスター漢字 日本語能力試験 N1 B5判 197頁+別冊21頁、1,260円 [978-4-88319-546-6]
- ◆ 新完全マスター漢字 日本語能力試験 N2 B5判 121頁+別冊① 79頁・別冊② 38頁、CD付、1,470円 [978-4-88319-547-3]
- ◆ 新完全マスター聴解 日本語能力試験 N1 B5判 89頁+別冊46頁、CD 2枚付、1,680円 [978-4-88319-566-4]
- ◆ 新完全マスター聴解 日本語能力試験 N2 B5判 103頁+別冊46頁、CD 2枚付、1,680円 [978-4-88319-567-1]
- ◆ 新完全マスター文法 日本語能力試験 N1 B5判 180頁+別冊7頁、1,260円 [978-4-88319-564-0]
- ◆ 新完全マスター文法 日本語能力試験 N2 B5判 211頁+別冊9頁、1,260円 [978-4-88319-565-7]

### 『日本語能力試験模擬テスト』シリーズも好評発売中!!

- 日本語能力試験 N1 模擬テスト〈1〉 B5判 31頁+問題冊子、CD付、945円 [978-4-88319-556-5]
- 日本語能力試験 N2 模擬テスト〈2〉 B5判 31頁+問題冊子、CD付、945円 [978-4-88319-557-2]



## 『新完全マスター語彙 日本語能力試験 N 1』、『新完全マスター語彙 日本語能力試験 N 2』

東京学芸大学留学生センター非常勤講師 伊能裕晃

本書は、新試験に対応するために、語彙研究、語彙教育の知見を取り入れつつ、作られた教材です。第1部「話題別に言葉を学ぼう」、第2部「性質別に言葉を学ぼう」、「模擬試験」の三部から成る本書の特徴を以下に紹介します。

### どのように語を学ぶのか

- 新試験では出題される語彙のリストが非公開になりましたが、本書では、新試験の語彙の選出に用いられたのと同じ資料(NTTデーターベースシリーズ『日本語の語彙特性』)等を用いて、N 1、N 2 のレベルを想定し、語を選びました。
- 新試験では、どのような状況(目標言語使用領域)で、何のために(課題)、日本語を使うかということが重視されていますが、本書もこれを踏まえ、学習者が接する状況や課題を想定し、「生活」「教育」「仕事」など話題別に語を学ぶ章を設けました(第1部)。話題別に語を分類する際には、大規模な言語データーベース(コーパス)を用い、話題に関連する語を客観的に選びました。
- 「語形成」「オノマトペ」「慣用表現」など、新試験で見直しが行われた項目や、過去問の分析結果から、点差の付きやすい「副詞」、選択肢で出される「形の似ている言葉」などについて、それぞれ一章を設けました(第2部)。

### どのように語を学ぶのか

- 本書の第1部では、語を話題別に他の語と関連付けて学べるようになっています。話題別に語彙を広げることは、読解や聴解などの基礎となる語彙力の養成にもつながります。
- 試験と同じ形式の問題だけでなく、共起する語(連語)を問う問題や、誤った語の使い方を訂正する問題など、語彙力の養成に効果的な、様々な形式の練習を設けました。
- 問題数が多いことも本書の特徴です。独習だけでなく、教室での使用も想定して、問題数を多目にしてあります。

本書を使って学ぶことで、単調になりがちな語彙学習が学習者にとって少しでも興味深いものになればと願っています。

### 新完全マスター語彙 日本語能力試験 N 1

B5判184頁+別冊24頁、1,260円  
伊能裕晃・本田ゆかり・来栖里美・前坊香菜子・阿保きみ枝・宮田公治著



### 新完全マスター語彙 日本語能力試験 N 2

B5判207頁+別冊32頁、1,260円(9月発行予定)  
伊能裕晃・本田ゆかり・来栖里美・前坊香菜子・阿保きみ枝・宮田公治著

## 『新完全マスター読解 日本語能力試験 N 1』、『新完全マスター読解 日本語能力試験 N 2』

東京外国語大学留学生日本語教育センター非常勤講師 田代ひとみ

『新完全マスター読解 日本語能力試験 N 1』『同 N 2』は、2010年に大幅に改定された日本語能力試験に合格できるように作られた、読解の問題集です。また、試験対策としてだけでなく、中上級レベル全般の読解力養成にも有用です。

### 本書の構成

#### ● 実力養成編

- 第1部 評論・解説・エッセイなど
- 第2部 広告・お知らせ・説明書きなど
- 第3部 実戦問題

#### ● 模擬試験

第1部、第2部は基礎的な練習で、読解に慣れていない学習者でも、無理なく実力が養成できるようになっています。試験に出題されると思われるさまざまな形式の文章は、できるだけ生テキストから取りあげました。

学習者の中には「文章の部分的な質問には答えられるが、全体で何を言っているのかがわからない」と言う人が少なくありません。一方、新試験には文章全体の主旨を問う問題が出題されます。そこで、第1部で、「対比」「言い換え」「比喩」「疑問提示文」などの読み取りポイントを提示して、文章全体をつかむ練習を数多く収録しました。例題では図や記号を用いてわかりやすく解説しています。

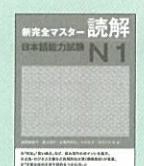
第2部では新試験から採用された「広告、パンフレット、情報誌、ビジネス文書」などの情報素材を使った問題です。ここでは、第1部とは違う読み方、つまり、全体にざっと目を通して文章の目的や主旨をつかむ、あるいは、必要な部分だけを読むという読み方が必要になります。こうした練習問題も豊富に揃えました。

このような練習のあとに、第3部で実際の試験に出題される形式の問題を用意しました。最後に模擬試験で腕試しができます。

例題・練習問題のすべてに、本文の読み取り方、選択肢の選び方を詳しく説明した解説をつけました。(練習問題の解説は別冊に収録)。教室で使用するテキストとしてだけでなく、自習教材としても最適です。この一冊で十分な試験対策が可能です。さらに、日本語を使って生活・仕事をする際の手助けにもなるでしょう。

### 新完全マスター読解 日本語能力試験 N 1

B5判202+別冊48頁、1,470円(8月発行予定)  
福岡理恵子・清水知子・初鹿野阿れ・中村則子・田代ひとみ著



### 新完全マスター読解 日本語能力試験 N 2

B5判214+別冊40頁、1,470円(8月発行予定)  
田代ひとみ・中村則子・初鹿野阿れ・清水知子・福岡理恵子著



## SEMINARS

## セミナー



スリーエーネットワーク主催

## ◆『新完全マスター』シリーズ研修会

新しい日本語能力試験で合格するための指導法、対策は日本語教師の関心が高い分野です。今回の研修会では、『新完全マスター』シリーズの著者が、本書の紹介を交えながら、日本語能力試験で合格する各分野（「語彙」「文法」「漢字」「読解」「聴解」）での力を養うことについて、お話しします。

日本語能力試験「N1」「N2」に合格するための  
「語彙力」「文法力」を養うには

- ・東京会場： 9月3日(土) YMCAアジア青少年センター  
(東京都千代田区猿楽町2-5-5)
  - ・大阪会場： 9月17日(土) 愛日会館  
(大阪市中央区本町4-7-11)
- 13:30 受付開始  
14:00 講義1 『新完全マスター語彙』伊能裕晃  
15:20 講義2 『新完全マスター文法』友松悦子  
16:30 講義終了予定

日本語能力試験「N1」「N2」に合格するための  
「漢字の力」「読解の力」「聴解の力」を養うには

- ・東京会場： 9月24日(土) 日本教育会館  
(東京都千代田区一ツ橋2-6-2)
- 13:00 受付開始  
13:30 講義1 『新完全マスター漢字』石井怜子  
14:30 講義2 『新完全マスター読解』田代ひとみ  
15:30 講義3 『新完全マスター聴解』中村かおり  
16:20 講義終了予定

- ・大阪会場： 10月1日(土) 天満研修センター  
(大阪市北区錦町2-21)
- 13:30 受付開始  
14:00 講義1 『新完全マスター読解』田代ひとみ  
15:20 講義2 『新完全マスター聴解』中村かおり  
16:30 講義終了予定

定 員： 80名（先着順、各会場とも）



- BOOKS**
- |                     |        |        |
|---------------------|--------|--------|
| 新完全マスター語彙 日本語能力試験N1 | 発売中    | 1,260円 |
| 新完全マスター語彙 日本語能力試験N2 | 9月発行予定 | 1,260円 |
| 新完全マスター読解 日本語能力試験N1 | 8月発行予定 | 1,470円 |
| 新完全マスター読解 日本語能力試験N2 | 8月発行予定 | 1,470円 |

すべて税込価格です

- ・セミナー④ (16:00～17:00) : 澤田幸子 (財)海外技術者研修協会関西研修センター日本語講師、他)、『日本語おしゃべりのたね』(スリーエーネットワーク)

問い合わせ/申込み先：㈱アルク イベント推進部  
TEL: 03-3323-0021 FAX: 03-3323-1220  
e-mail: event@alc.co.jp

## ●地域で活動する日本語ボランティアのための研修会 in 秋田

- 主 催： (財)秋田県国際交流協会  
共 催： アルク・スリーエーネットワーク・凡人社  
日 時： 9月10日(土) 13:00～16:25 (受付開始 12:00)  
会 場： 秋田アトリオ7F研修室  
(秋田県秋田市中通2-3-8)  
講 師： 吉田聖子 (『外国人と対話しよう! にほんごボランティア手帖 すぐに使える活動ネタ集』著者)  
原沢伊豆夫 (『考えて、解いて、学ぶ 日本語教育の文法』著者)  
浅野陽子 (『マンガで学ぶ日本語表現と日本文化』著者)  
定 員： 80名 (先着順)  
参加費： 無料  
問い合わせ/申込み先： (財)秋田県国際交流協会  
010-0001 秋田市中通2-3-8 秋田アトリオ1階  
TEL: 018-893-5499 FAX: 018-825-2566  
e-mail: aia@aiahome.or.jp

兵庫日本語ボランティアネットワーク2011年度  
第1回研修会

## ●参加型学習ー共に学び合える活動ー

- 共 催： 兵庫日本語ボランティアネットワーク、スリーエーネットワーク  
日 時： 10月23日(日) 10:00～17:00 (受付開始 9:30)  
会 場： 兵庫県立のじぎく会館内203・204号室  
(兵庫県神戸市中央区山本通4-22-15)  
講 師： 杉澤経子 (『やってみよう「参加型学習」!』著者)  
参加費： 1,000円 (兵庫日本語ボランティアネットワーク会員: 500円)  
定 員： 60名 (先着順)  
問い合わせ/申込み先： 長嶋昭親 (兵庫日本語ボランティアネットワーク) FAX: 078-752-8415  
e-mail: buadu406@hi-net.zaq.ne.jp

- 『Ja-Net』をご希望の方はお名前・ご住所・ご所属を編集室までお知らせください。無料でお送りいたします。『Ja-Net』第59号は10月25日発行です。